

みんなくゼミナール一覧

回数	開催年月日	演 題	講師	参加者数	備 考
1回	1978年5月19日	「明治初期の日本人の見た北アジア諸民族」	梅棹忠夫 加藤九祚		
2回	1978年6月16日	「黒アフリカの造形文化」	端信行		
3回	1978年7月21日	「トーテムポールを生み出した文化」	大給近達		
4回	1978年8月18日	「東南アジアの家族の類型」	松澤眞子		
5回	1978年9月22日	「ハワイの日系人と宗教」	中牧弘允		
6回	1978年10月22日	「東南アジアの山地民の社会」	竹村卓二		
7回	1978年11月17日	「21世紀の民族学」 「異なった文化のみかた」	梅棹忠夫 祖父江孝男		
8回	1978年12月15日	「アフガニスタンの音楽と楽器」	櫻井哲男		
9回	1979年1月19日	「南太平洋の村落とすまい」	杉本尚次		
10回	1979年2月16日	「アラスカ・エスキモーの文化史」	小谷凱宣		
11回	1979年3月16日	「セネガル・フルベ族の説話」	小川了		
12回	1979年4月20日	「羽衣説話の系譜」	君島久子		
13回	1979年5月18日	「近世のアイヌ絵とアイヌの社会」	大塚和義		
14回	1979年6月15日	「民族学における映画の利用」	大森康宏		
15回	1979年7月20日	「日本の稲霊観念の系譜」	伊藤幹治		
16回	1979年8月17日	「民族学と情報処理」	杉田繁治		
17回	1979年9月21日	「木の実の文化史」	松山利夫		
18回	1979年10月19日	「茶の文化誌」	守屋毅		
19回	1979年11月16日	「現代メキシコのインディオ社会」	黒田悦子		
20回	1979年12月21日	「こけしと東北日本の文化」	泉幽香		
21回	1980年1月18日	「民具学のあゆみ」	中村俊亀智		
22回	1980年2月15日	「芸能とは何か」	守屋毅		
23回	1980年3月21日	「照葉樹林文化について」	佐々木高明		
24回	1980年4月19日	「魚食文化論」	秋道智彌		
25回	1980年5月17日	「インドネシア北ハルマヘラ諸島の言語」	和田祐一		
26回	1980年6月21日	「西アフリカの呪物崇拜」	和田正平		
27回	1980年7月19日	「日本の婚礼儀式―婿入婚と嫁入婚―」	大胡修		
28回	1980年8月16日	「シベリアのシャーマニズム」	加藤九祚		
29回	1980年9月20日	「アマゾンの神話」	友枝啓泰		
30回	1980年10月18日	「アンデス高地農民の祭」	山本紀夫		
31回	1980年11月15日	「日本人の県民性と地域性」	祖父江孝男		
32回	1980年12月20日	「欧米人の目から見たキモノ」	大丸弘		
33回	1981年1月17日	「民族学における画像処理の応用」	八村廣三郎		
34回	1981年2月21日	「東南アジア山地民の姓と名」	竹村卓二		
35回	1981年3月28日	「ペルーの古代文明について」	藤井龍彦		
36回	1981年4月18日	「ブラジル日系移民の近況と将来」	大給近達		
37回	1981年5月23日	「未来の宗教」	岩田慶治		
38回	1981年6月20日	「フィリピン山地民の信仰と儀礼」	宮本勝		
39回	1981年7月18日	「カナダ・インディアンとトナカイ」	煎本孝		
40回	1981年8月15日	「ヨーロッパの民家―野外博物館を中心に―」	杉本尚次		
41回	1981年9月19日	「はるかなるマンザナール―アメリカの日系人戦時収容所―」	小山修三		
42回	1981年10月24日	「トルコの村の生活」	松山正毅		
43回	1981年11月21日	「人は空間をどのように認識しているか」	吉田集而		

みんぱくゼミナール一覧

回数	開催年月日	演 題	講師	参加者数	備 考
44回	1981年12月12日	「民族学からみた日本人の先祖観」	伊藤幹治		
45回	1982年1月16日	「コンピュータによる民族音楽の分析」	山本順人		
46回	1982年2月20日	「日本人の贈答」	栗田靖之		
47回	1982年3月20日	「しぐさの民族誌」	野村雅一		
48回	1982年4月17日	「イースター島の巨石文化」	石毛直道		
49回	1982年5月15日	「オセアニアの家族と結婚」	須藤健一		
50回	1982年6月19日	「西アフリカ民話の世界」	江口一久		
51回	1982年7月17日	「ミクロネシアのキリスト教」	石森秀三		
52回	1982年8月28日	「タイにおける農民意識と農民反乱」	田邊繁治		
53回	1982年9月18日	「アジア各地の竜舟祭とその伝承」	君島久子		
54回	1982年10月23日	「ミクロネシア・ポナペ島のイモ祭り」	中山和芳		
55回	1982年11月20日	「日本の器—かめ、はち、わん、さら、つぼ—」	中村俊亀智		
56回	1982年12月11日	「バルカンの人とくらし」	伊東一郎		
57回	1983年1月22日	「アラブのものの考え方と日常生活」	片倉素子		
58回	1983年2月19日	「アラバスク—イスラム世界の美意識—」	杉村棟		
59回	1983年3月12日	「カラコルムのうた—イスラム文明とラマ文明の出会い—」	藤井知昭		
60回	1983年4月16日	「台湾山地民社会の変容」	松澤員子		
61回	1983年5月21日	「保存科学の眼で見た民族資料」	森田恒之		
62回	1983年6月18日	「地域英語の未来—メラネシアのピジン語—」	和田祐一		
特別講演会	1983年7月2日	「西アフリカの魅力を探る」	端信行、江口一久 和田正平、森淳 井関和代		
63回	1983年7月16日	「エジプト段村の結婚式」	大塚和夫		
64回	1983年8月20日	「贈答とあいさつ」	小川了		
65回	1983年9月17日	「日本の村境の景観と行事」	垂水稔		
66回	1983年10月15日	「アメリカ人その歴史と国民性」	祖父江孝男		
67回	1983年11月19日	「エルミタージュ美術館を散歩して」	加藤九祚		
68回	1983年12月10日	「新大陸文化の起源」	小谷凱宣		
69回	1984年1月21日	「日本文化の源流をさぐる—中国少数民族文化と日本—」	佐々木高明		
70回	1984年2月18日	「北欧の少数民族—フィン系民族を中心にして」	庄司博史		
71回	1984年3月17日	「色と言葉」	長野泰彦		
72回	1984年4月21日	「ニューギニアの育児文化—母乳のすすめ—」	秋道智彌		
73回	1984年5月19日	「スペインの春の祭」	黒田悦子		
74回	1984年6月16日	「民族学は映画に何を求めるか」	大森康宏		
75回	1984年7月21日	「中国ヤオ族の犬祖説話」	竹村卓二		
76回	1984年8月18日	「インドネシア華僑の美と工芸—減びゆく絹のジャワ更紗をめぐる—」	吉本忍		
77回	1984年9月22日	「民族学からみた日本人の聖俗観」	伊藤幹治		
78回	1984年10月20日	「民族学からみた情報の世界」	大給近達		
79回	1984年11月17日	「生と死の民族学」	岩田慶治		
80回	1984年12月15日	「内モンゴルの遊牧生活」	大塚和義		
81回	1985年1月19日	「世界の弦楽器」	櫻井哲男		
82回	1985年2月16日	「オーストラリア・アボリジニーの文化復興運動」	松山利夫		
83回	1985年3月16日	「戦いの人類学—東アフリカの牧畜民の事例から—」	福井勝義		
84回	1985年4月20日	「イスラムとの出会い—祈りの意味について—」	片倉素子		

みんなくゼミナール一覧

回数	開催年月日	演 題	講師	参加者数	備 考
85回	1985年5月18日	「古代インドの季節祭」	永ノ尾信悟		
86回	1985年6月15日	「捕鯨船と宣教師－一九世紀のボナベ島と西洋－」	中山和芳		
87回	1985年7月20日	「ブータン西から東まで」	栗田靖之		
88回	1985年8月17日	「サゴヤシ文化論－オセアニアの最古の農耕文化－」	吉田集而		
89回	1985年9月21日	「魚醤の文化」	石毛直道		
90回	1985年10月19日	「日本の神々の多国籍化現象－アメリカとブラジル－」	中牧弘允		
91回	1985年11月16日	「縄文社会の文化人類学」	小山修三		
92回	1985年12月21日	「お守りの世界－ミンドロ島ハヌノオ・マンヤン族の宗教観－」	宮本勝		
93回	1986年1月18日	「中国珠江デルタの養魚と農業」	ケネス、ラドル		
94回	1986年2月15日	「ニューギニアの人とことば」	崎山理		
95回	1986年3月15日	「マヤ文明の崩壊」	八杉佳穂		
96回	1986年4月19日	「ジャガーの民－オルメカからマヤへ－」	藤井龍彦 八杉佳穂		
97回	1986年5月17日	「アンデス牧民の歌」	友枝啓泰		
98回	1986年6月21日	「西アフリカフルベ族の芸能」	江口一久		
99回	1986年7月19日	「揚子江源流域のチベット牧畜民」	松原正毅		
100回	1986年8月8日	第100回記念「身ぶりからスポーツへ－民族学的展望－」 8日：民族誌映画の上映・解説と討論	野村雅一、小山修三 小川了、秋道智彌 平井タカネ		
	1986年8月9日	第100回記念「身ぶりからスポーツへ－民族学的展望－」 9日：シンポジウム	野村雅一、小山修三 ヨネヤママコ 山本徳郎、C. ゴジュワ J. プルンプルン		
101回	1986年9月20日	「民族学とコンピュータグラフィックス」	杉田繁治 久保正敏 山本泰則		
102回	1986年10月18日	「伝統文化の中の芸者たち」	大丸弘		
103回	1986年11月15日	「柱と門－中国の建築と儀礼－」	周達生		
104回	1986年12月13日	「ヨーロッパの村と町－鉄道の旅－」	杉本尚次		
105回	1987年1月17日	「ラップランド紀行－フィンランド北部の原住民の現代生活－」	佐々木史郎		
106回	1987年2月21日	「日本古来の元服式」	大森康宏		
107回	1987年3月28日	「物見遊山の民族学」	石森秀三		
108回	1987年4月18日	「アジアの吟遊詩人」	藤井知昭		
109回	1987年5月16日	「国際協力の人類学－ペルーでの三年－」	山本紀夫		
110回	1987年6月20日	「ミクロネシア小国家の独立と近代化」	須藤健一		
111回	1987年7月18日	「日本人の人生設計」	端信行		
112回	1987年8月15日	「鉄さびと民族資料」	森田恒之		
113回	1987年9月19日	「スリランカの漁民たち」	田中雅一		
114回	1987年10月17日	「砂漠とサバンナの旅－アフリカの豊かな色彩認識－」	福井勝義		
115回	1987年11月21日	「中国少数民族の民話－「竹取物語」と竹王伝説－」	君島久子		
116回	1987年12月12日	「アメリカの都市と村－自動車の旅－」	杉本尚次 守屋毅		
117回	1988年1月16日	「ことばとナショナリズム」	庄司博司		
118回	1988年2月20日	「ギャロンの言語と文化－知られざる中国少数民族－」	長野泰彦		
119回	1988年3月19日	「タイの女性と神がかり」	田邊繁治		
120回	1988年4月16日	「織物と織機」	吉本忍		
121回	1988年5月21日	「ヨバイ、略奪、一夫多妻－西アフリカ、フルベ社会での結婚を考える－」	小川了		
122回	1988年6月18日	「アメリカ合衆国の西部史を再考する－メキシコ系アメリカ人の眼」	黒田悦子		
123回	1988年7月9日	「中国の朝鮮族－延辺朝鮮族自治州の旅－」	櫻井哲男		

みんなくゼミナール一覧

回数	開催年月日	演 題	講師	参加者数	備 考
124回	1988年8月20日	「鱈と鯨の馴れ鮓－その年間行事空間－」	泉幽香		
125回	1988年9月17日	「アーネムランドの星まつり－オーストラリア・アボリジニの神話と生活－」	松山利夫		
126回	1988年10月15日	「香港中国人の伝統文化」	瀬川昌久		
127回	1988年11月19日	「アメリカ人の見た日本の子ども観としつけ」	松澤真子		
128回	1988年12月10日	「アイヌ伝統工芸－過去と現在－」	大塚和義		
129回	1989年1月21日	「祇園祭と春日若宮おんまつり」	垂水稔		
130回	1989年2月18日	「乳房のある家－東インドネシアの土地と人間－」	杉島敬志		
131回	1989年3月18日	「ニューギニア低地民はいかに生きているか」	吉田集而		
132回	1989年4月15日	「異界と再生－タイ＝ラオ族のくらしと宗教－」	林行生		
133回	1989年5月20日	「海人の民族学」	秋道智彌		
134回	1989年6月17日	「イスラームの祭り」	大塚和夫		
135回	1989年7月15日	「ベンガル湾北部の魚とり」	永ノ尾信悟		
136回	1989年8月19日	「英語の未来」	和田祐一		
137回	1989年9月16日	「神聖王としてのインカ」	増田義郎		
138回	1989年10月21日	「アンデスの宗教と儀礼」	友枝啓泰		
139回	1989年11月18日	「神殿の文化－アンデス文明：形成期を中心に－」	大貫良夫		
140回	1989年12月16日	「韓国の刺身 日本の焼き肉」	朝倉敏夫		
141回	1990年1月20日	「乾燥地帯の生活と絨毯」	杉村棟		
142回	1990年2月17日	「山の民の暮し－中国雲南省リス族、ヌー族、チベット族－」	栗田靖之		
143回	1990年3月17日	「仮面の秘密結社－アフリカ・チェワ族の造形と儀礼－」	吉田憲司		
144回	1990年4月21日	「ザイルの仮面」	末原達郎 渡辺公三		
145回	1990年5月19日	「現代文化と仮面の意味－「赤道アフリカの仮面」展をめぐる－」	端信行		
146回	1990年6月16日	「ベースボールと都市－スタジアムにみる日米比較文化－」	杉本尚次		
147回	1990年7月21日	「ビルマの「神々」の世界」	田村克己		
148回	1990年8月18日	「住まいに生きる人びと－東インドネシア調査記より－」	佐藤浩司		
149回	1990年9月22日	「モースの考古学と民族学」	佐原眞蔵		
150回	1990年10月20日	「モースの時代－明治初期の日本と日本人－」	祖父江孝男		
151回	1990年11月17日	「なぜいまモースなのか－博物学の過去・現在・未来－」	守屋毅		
152回	1990年12月15日	「壮族の社会と文化－中国少数民族の漢化の一側面－」	塚田誠之		
153回	1991年1月19日	「文化人類学入門」	石毛直道		
154回	1991年2月16日	「母ヒツジにうたってきかせる「子とらせ歌」－春のモンゴル草原－」	小長谷有紀		
155回	1991年3月16日	「ケンペルの日本旅行記の意義について」	ヨーゼフ・クライナー		
156回	1991年4月20日	「マヤ文字を読もう－国立国際美術館大英博物館展によせて－」	八杉佳穂		
157回	1991年5月18日	「ヨーロッパの台所生態学」	森明子		
158回	1991年6月15日	「日本の闘牛－徳之島－」	野村雅一		
159回	1991年7月20日	「マダガスカルの人と生活」	崎山理		
160回	1991年8月24日	「ジャガンナートの山車巡行祭－インドのプリー－」	永ノ尾信悟		
161回	1991年9月21日	「コンピュータ面類学序説－民族芸術論の試み－」	杉田繁治		
162回	1991年10月19日	「文化としての食」	周達生		
163回	1991年11月16日	「絵馬に描かれた花嫁と花婿－みちのくの婚姻習俗をたずねて－」	和田正平		
164回	1991年12月14日	「女紋の話－母が娘に継がせる紋章－」	近藤雅樹		
165回	1992年1月18日	「＜もめごと＞はどう処理されるか－法人類学入門－」	宮本勝		
166回	1992年2月15日	「美人民族学入門－化粧の文化比較－」	大丸弘		

みんなくゼミナール一覧

回数	開催年月日	演 題	講師	参加者数	備 考
167回	1992年3月14日	「遊牧の文明史的意味」	松原正毅		
168回	1992年4月18日	「民族の森・ダゲスタン」	加藤九祚		
169回	1992年5月16日	「自然を文化化する－焼畑と牧畜にみる民俗思考－」	福井勝義		
170回	1992年6月20日	「オセアニアの性と結婚」	須藤健一		
171回	1992年7月18日	「タイ・ラオスの動物供犠」	田邊繁治		
172回	1992年8月22日	「地球環境問題と民族資料の保存」	森田恒之		
173回	1992年9月19日	「オーストラリア・アボリジニー狩猟採集民の現在－」	小山修三		
174回	1992年10月17日	「アボリジニ・シンボジウム「精霊の五万年」」	小山修三、松山利夫 河合雄雄、窪田幸子		
175回	1992年11月21日	「アボリジニ・シンボジウム「狩人の五万年」」	松山利夫、金子裕之 佐原真、堀江保範		
176回	1992年12月19日	「＜親子の絆＞とはどのようなものか－社会人類学の視点－」	清水昭俊		
177回	1993年1月16日	「ネパールの歌垣」	南真木人		
178回	1993年2月20日	「中国・青海省土族のナドン－漢化したモンゴル系民族の祭り－」	庄司博司		
179回	1993年3月13日	「民族学の先覚者 鳥居龍蔵」	佐々木高明		
180回	1993年4月17日	「アユと日本文化」	秋道智彌		
181回	1993年5月15日	「大観光時代と日本－観光による国際貢献－」	石森秀三		
182回	1993年6月19日	「アイヌ民具とともに40年」	萱野茂		
183回	1993年7月17日	「国際先住民とアイヌ民族」	大塚和義		
184回	1993年8月21日	「現代アフリカの内戦と難民」	栗本英世		
185回	1993年9月18日	「ジャワ更紗－その多様な伝統の世界－」	吉本忍		
186回	1993年10月16日	「インド・東南アジアと日本の古渡り更紗」	小笠原小枝		
187回	1993年11月20日	「インカの末裔たちは今」	山本紀夫		
188回	1993年12月18日	「日本の暦・世界の暦」	中牧弘允		
189回	1994年1月22日	「マンダラとは何か」	立川武蔵		
190回	1994年2月19日	「茶の湯の歴史」	熊倉功夫		
191回	1994年3月19日	「台湾先住民の新しい伝統づくり」	松澤員子		
192回	1994年4月16日	「カトリックとプロテスタント諸派－メキシコの地方都市における二つの宗教文化－」	黒田悦子		
193回	1994年5月21日	「ルーマニアのくらしとイコン」	新免光比呂		
194回	1994年6月18日	「贈りもので結びつく人と人－ボルネオ焼畑農耕民の社会－」	上杉富之		
195回	1994年7月16日	「文化とメディア－アボリジニのコミュニケーション－」	久保正敏		
196回	1994年8月20日	「海産物と農作物－アンデス文明形成期の食料基盤－」	藤井龍彦		
197回	1994年9月17日	「ペルシア絨毯の文様が語る世界」	杉村棟		
198回	1994年10月15日	「中国新疆ホクサイル蒙古自治県－カザフ族とモンゴル族の間－」	小長谷有紀		
199回	1994年11月19日	「人はなぜ酒を飲むのか」	吉田集而		
200回	1994年12月17日	第200回記念ゼミナール「日本文化と日本人の形成」	佐々木高明		
201回	1995年1月21日	「シャンジュン語の謎－西チベットの古代王朝－」	長野泰彦		
202回	1995年2月18日	「縄文文化を考え直す－三内丸山遺跡をめぐる－」	小山修三		
203回	1995年3月18日	「中南米への弦楽器の伝播とその変容」	濱田滋郎		
204回	1995年4月15日	「アジア音楽の変貌－伝統音楽とポピュラー音楽のはざまで－」	藤井知昭		
205回	1995年5月20日	「アンデスからカリブ海－ラテンアメリカの楽器を求めて－」	山本紀夫		
206回	1995年6月17日	「映像で語る縄文の祭り」	小山修三		
207回	1995年7月15日	「西ジャワの音楽－ガムランからポップまで－」	福岡正太		
208回	1995年8月19日	「発明・発迷？－近代の特許民具のあれこれ－」	近藤雅樹		
209回	1995年9月16日	「マヤの人々－現代を織りなす様々な糸－」	八杉佳穂		

みんぱくゼミナール一覧

回数	開催年月日	演 題	講師	参加者数	備 考
210回	1995年10月21日	「イスラーム世界のユダヤ教徒－イスラエルに移住した人々－」	白杵陽		
211回	1995年11月18日	「インカ皇帝の首」	友枝啓泰		
212回	1995年12月16日	「中国雲南のペー族村での結婚」	横山廣子		
213回	1996年1月20日	「中国東北部における朝鮮族の生活」	朝倉敏夫		
214回	1996年2月17日	「「異文化」展示の系譜学－民族学博物館の営みをつめなおす－」	吉田憲司		
215回	1996年3月16日	「新しい展示の試み－楽しい博物館を目指して－」	栗田靖之		
216回	1996年4月20日	「語り部のかたるフルベ族の女」	江口一久		
217回	1996年5月18日	「「文化の生産」を考える－東南アジアを中心に－」	田村克己		
218回	1996年6月15日	「スリランカの祭りと踊り」	杉本良男		
219回	1996年7月20日	「砂漠の民の水瓶・スイカーカラハリから日本へ－」	池谷和信		
220回	1996年8月17日	「シーボルト・コレクションと日本のくらし」	熊倉功夫		
221回	1996年9月21日	「ミニチュア博物誌－シーボルト・コレクションを中心に－」	近藤雅樹		
222回	1996年10月19日	「リオ人の十月－東インドネシア・フローレス島の季節と生活－」	杉島敬志		
223回	1996年11月16日	「シベリアの動物資源と狩猟」	佐々木史郎		
224回	1996年12月21日	「屯田兵の末裔たち－中国西南部における移住と民族形成－」	塚田誠之		
225回	1997年1月18日	「ラテンアメリカの文明と都市」	山田睦男		
226回	1997年2月15日	「屋根はかたる－トラジャの屋根替からトタンまで－」	佐藤浩司		
227回	1997年3月15日	「グルメとダイエット－食事における享楽と禁欲－」	石毛直道		
228回	1997年4月19日	「フランスの博物館の舞台裏－文化財の調査と修復アトリエを中心に－」	園田直子		
229回	1997年5月17日	「インドネシア・バチャン島のバジョ人の生活－漂海から定住へ－」	崎山理		
230回	1997年6月21日	「天神信仰の成り立ちと移り変わり－御霊・雷神・天神人形－」	笹原亮二		
231回	1997年7月19日	「わたしもアデレード市民－あるアボリジナル家族の生活と歴史－」	松山利夫		
232回	1997年8月16日	「現代カナダ・イヌイットの社会と暮らし－変化する相互扶助の文化－」	岸上伸啓		
233回	1997年9月20日	「観光リゾートで働く人々－ミクロネシア人の出稼ぎ移民－」	清水昭俊		
234回	1997年10月18日	「ものが語る文化の出会い－特別展「異文化へのまなざし」をめぐる－」	吉田憲司		
235回	1997年11月15日	「南太平洋への憧憬－"楽園"と"野蠻"のイメージをたどる－」	林勲男		
236回	1997年12月20日	「ハイジの世界－二十世紀前半のヨーロッパ農村－」	柄木田明子		
237回	1998年1月17日	「アマゾンの500年－探検・宣教・開発－」	齋藤晃		
238回	1998年2月21日	「ペルーの現状とフジモリ政権」	村上勇介		
239回	1998年3月21日	「吉兆の響き－南インドのヒンドゥー儀礼音楽－」	寺田吉孝		
240回	1998年4月18日	「技術と文化－X線写真でみる民族資料－」	森田恒之		
241回	1998年5月16日	「秘境ナガランド－インド東北部の機織り技術と生活文化－」	吉本忍		
242回	1998年6月20日	「クジラと人間－環太平洋のクジラ文化－」	秋道智彌		
243回	1998年7月18日	「「原住民」として生きる人々－台湾先住民のくらし－」	野林厚志		
244回	1998年8月15日	「モンゴル草原の生活絵巻」 －特別展「大モンゴル展」へのいざない－	小長谷有紀		
245回	1998年9月19日	「チンギス・ハーンの子孫たち」 －近代内モンゴルと中国、日本、ソ連との関わりを通じて－	楊海英		
246回	1998年10月17日	「シェヘラザードは悪女？－『千一夜物語』と中東世界の女性観－」	西尾哲夫		
247回	1998年11月21日	「英雄が生まれるとき－現代中央アジアの国づくり－」	帯谷知可		
248回	1998年12月19日	「癒しとケアの身体技法－北タイの霊媒カルト－」	田邊繁治		
249回	1999年1月16日	「職人文化と近代化－ネパールの職業カースト－」	南真木人		
250回	1999年2月20日	「映像がかたる民族文化」	大森康宏		
251回	1999年3月20日	「南太平洋の文化遺産－企画展「ジョージ・ブラウン・コレクション展」へのいざない－」	石森秀三		

みんなくゼミナール一覧

回数	開催年月日	演 題	講師	参加者数	備 考
252回	1999年4月17日	「ミュージアム・トーク 南太平洋の過去・現在・未来」	石森秀三、林勲男 白川千尋、須藤健一 関根久雄		
253回	1999年5月15日	「「みんなく電子ガイドシステム」とは、どんなもの？」	栗田靖之、和田哲也 梶田卓史		
254回	1999年6月19日	「「アイヌ新法」制定2周年記念ユカラを聴く集い」	大塚和義		
255回	1999年7月17日	「21世紀の家族－女性たちの視点－」	黒田悦子、小長谷有紀 原ひろ子、荻野美穂 西川麦子		
256回	1999年8月21日	「新生殖技術時代の家族」	上杉富之		
257回	1999年9月18日	「越境することば・越境する人びと－多言語化する日本社会－」	庄司博司		
258回	1999年10月16日	「越境するインド映画－コピー文化の氾濫－」	杉本良男		
259回	1999年11月20日	「グローバル・コミュニティと情報ネットワーク－世界をつなぐ、世界が生れる－」	山本匡		
260回	1999年12月18日	「「考暦学」のすすめ－世紀末とカレンダー－」	中牧弘允		
261回	2000年1月15日	「アボリジニとスポーツ－オーストラリア社会との関わりを読む－」	久保正敏		
262回	2000年2月19日	「眠りと夢の民族学」	林勲男		
263回	2000年3月18日	「身体の進化・美しい歩き方」	小山修三、堀江保範 栗原奈名子		
264回	2000年4月15日	「わたしを演じる－演技と変身への願い－」	野村雅一		
265回	2000年5月20日	「新しくなった「朝鮮半島の文化」展示 －その見方、楽しみ方－	朝倉敏夫		
266回	2000年6月17日	「中国雲南省大理と日本－遣唐使から清代留学生まで－」	横山廣子		
267回	2000年7月15日	「カンボジアの影絵芝居スバエクトム」	福岡正太		
268回	2000年8月19日	「アメリカ自然史博物館 マーガレット・ミード記録映画祭 特集上映会」	大森康宏		
269回	2000年9月16日	「フランス・パリ人類博物館 民族誌映画祭 特集上映会」	大森康宏		
270回	2000年10月21日	「山形国際ドキュメンタリー映画祭特集上映会」	大森康宏		
271回	2000年11月18日	「古代アンデス文明の発掘物語－黄金の墓の発見と博物館の建設－」	関雄二		
272回	2000年12月16日	「文化の国際協力－博物館学セミナーのめざすもの－」	森田恒之 田村克己		
273回	2001年1月20日	「現代中国における毛沢東の意味－毛沢東の故郷、韶山の観光化－」	韓敏		
274回	2001年2月17日	「ルーマニアと日本をつなぐもの－マラムレシュ地方の木造文化－」	新免光比呂		
275回	2001年3月17日	「ガレーの屋根裏から「みんなく」は生まれた－子爵渋沢敬三の夢と学問－」	近藤雅樹		
276回	2001年4月21日	「渋沢敬三と周辺の人々－チームワークを求めて、腕白倶楽部そしてアチックヘー」	井上潤		
277回	2001年5月19日	「アチック旅行団－ひねくれまじめな遊覧団－」	斎藤純		
278回	2001年6月16日	「オセアニアの人と動物－乱獲と保護の歴史－」	印東道子		
279回	2001年7月21日	「森林・野生動物・文化を考える－地域からのレポート－」	秋道智彌、阿部健一 池谷和信、南真木人		
280回	2001年8月18日	「チンギス・ハーンの二頭の駿馬－モンゴル草原にひびく「長い歌」と英雄叙事詩－」	楊海英 シンバヤル		
281回	2001年9月15日	「北太平洋の先住民交易と工芸」	大塚和義		
282回	2001年10月20日	「北前船とその航海」	松木哲		
283回	2001年11月17日	「サンタン交易の政治経済－東アジア世界の中の北海道・サハリン・アムール－」	佐々木史郎		
284回	2001年12月15日	「ラッコとトーマスボール－北米北西海岸地域の先住民交易－」	岸上伸啓		
285回	2002年1月19日	「クメール社会の鏡としての芸能」	サムアン・サム		
286回	2002年2月16日	「映画の誕生と民族学」	大森康宏		
287回	2002年3月16日	「アボリジニの村と縄文文化」	小山修三		
288回	2002年4月20日	「展示の中の日本－韓国国立民俗博物館の「近い隣国、日本」展から－」	朴昊遠 島村恭則		
289回	2002年5月18日	「東京スタイル♥ソウルスタイル－人間生態宇宙の旅－」	佐藤浩司 都築響一		
290回	2002年6月15日	「ソウルスタイル－1979－2002－」	朝倉敏夫		
291回	2002年7月20日	「語りべのかたる昔話」	江口一久		
292回	2002年8月17日	「バリア・フリーの人類学」	廣瀬浩二郎		
293回	2002年9月21日	「現代アフリカの紛争を考える」	栗本英世、松田素二 高橋基樹		

みんなくゼミナール一覧

回数	開催年月日	演 題	講師	参加者数	備 考
294回	2002年10月19日	「風呂敷とボジャギ」	熊倉功夫、金順姫 森田知都子		
295回	2002年11月16日	「文明のアーカイブとして博物館」	杉田繁治		
296回	2002年12月21日	「日本の風呂敷文化」	熊倉功夫 竹村功夫		
297回	2003年1月18日	「博物館改修計画から見たブータン王国」	栗田靖之		
298回	2003年2月15日	「紛争と共存の聖地エルサレム」	臼杵陽		
299回	2003年3月15日	「マンダラとは何か」	立川武蔵		
300回	2003年4月26日	第300回記念 「フィールドワーク再考ー日本の民族学界の内と外ー」	松園万亀雄、中牧弘允 江口一久、大塚和夫 レギレギ		
301回	2003年5月17日	「ボン教研究の意味」	長野泰彦		
302回	2003年6月21日	「マヤ征服史」	八杉佳穂		
303回	2003年7月19日	「イタリアの町に住むということ」	宇田川妙子		
304回	2003年8月16日	「ベトナム少数民族の村落生活」	櫻永真佐夫		
305回	2003年9月20日	「昔話と家族」	江口一久、阿部奈南 桜井由美子、杉岡津岐子		
306回	2003年10月18日	「雑穀がむすぶアフリカとアジア」	江口一久 落合雪野		
307回	2003年11月15日	「江戸時代の乗りもの」	日高真吾		
308回	2003年12月20日	「変動するラテンアメリカの都市」	山田睦男		
309回	2004年1月17日	「アイヌ木彫の現在と未来を語る」	大塚和義、藤戸竹喜 浦川太八		
310回	2004年2月21日	「アフリカでアートを考える」	川口幸也		
311回	2004年3月20日	「ブチ出家のすすめーラオスの一時僧制度ー」	平井京之介		
312回	2004年4月17日	「中国獅子舞から見る「多みんぞくニホン」」	陳天璽 謝賢榮		
313回	2004年5月15日	「在日ブラジル人のエンタテインメント」	庄司博史 アンジェロ・イシ		
314回	2004年6月19日	「「家族」からみた現代インド」	押川文子		
315回	2004年7月17日	「食の安全性とは？サトイモの本から学べるもの」	ピーターJ・マシウス		
316回	2004年8月21日	「多民族NPOとNPO研究最前線」	出口正之		
317回	2004年9月18日	「世界にひろがるアラブの大衆芸能ベリーダンス」	西尾哲夫		
318回	2004年10月16日	「米を食べ魚を食べるー稲作民が築いた西アフリカの文明ー」	竹沢尚一郎		
319回	2004年11月20日	「音とイメージによるアラビアンナイトー西洋音楽にみるオリエンタリズムー」	水野信男 小田淳一		
320回	2004年12月18日	「異民族と暮らすアボリジナルーオーストラリア先住民の歴史を考えるー」	松山利夫		
321回	2005年1月15日	「映像と音声の力」	大森康宏		
322回	2005年2月19日	「比較相撲学事始ひかくすもうがくことはじめー日本とモンゴル」	小長谷有紀		
323回	2005年3月19日	「ペルー・アンデスの異形の織物」	吉本忍		
324回	2005年4月16日	「それは一枚の恋文から始まった……。ータカミネタダスのコモンセンスー」	高嶺格 佐藤浩司		
325回	2005年5月21日	「十顔身という仏の見方ーチベット仏教の仏画のしかけー」	小林繁樹		
326回	2005年6月18日	「現代中国社会の底力と孔孟の教え」	横山廣子		
327回	2005年7月16日	「国境に生きる人びとー中国のチワン族とベトナムのヌン族の交流ー」	塚田誠之		
328回	2005年8月20日	「マダガスカルインド洋の十字路」	飯田卓		
329回	2005年9月17日	「サリー幻想ーファッションがつくるインドー」	杉本良男		
330回	2005年10月15日	「サリーと呼ばれないサリーーインド隣国ネパールの事例」	南真木人		
331回	2005年11月19日	「トウモロコシの人類史ー儀礼用から遺伝子組み換え作物へ」	阿部健一		
332回	2005年12月17日	「メリー・クリスマスードイツの家族の祭」	森明子		
333回	2006年1月21日	「ウズベキスタンとイスラームー世俗主義とイスラーム復興の調和のゆくえ」	帯谷知可		
334回	2006年2月18日	「アレクサンドロス伝説を追ってープセウド・カリステネスからオリバー・ストーンまでー」	山中由里子		
335回	2006年3月18日	「子どもと社会と博物館」	野林厚志		

みんぱくゼミナール一覧

回数	開催年月日	演 題	講師	参加者数	備 考
336回	2006年4月15日	「触らぬ神に当たりなし―五感で拓く新たな人類学―」	広瀬浩二郎		
337回	2006年5月20日	「西アフリカから世界へ― 移動する商人の歴史と現在 ―」	三島慎子		
338回	2006年6月17日	「20世紀の器人タサダイは本当に存在したのか― メディア時代における「真実」の意味―」	菊澤律子		
339回	2006年7月15日	「シンの芸能― 日本の獅子舞の諸相―」	笹原亮二		
340回	2006年8月19日	「展示場の資料を数える」	山本泰則		
341回	2006年9月16日	「みんぱくの舞台裏― 資料を活用し、資料をまもる―」	園田直子		
342回	2006年10月21日	「更紗今昔物語― 世界からジャワへ、ジャワから世界へ ―」	吉本忍		
343回	2006年11月18日	「西アフリカのプリント布に見るジャワ更紗の影響」	井関和代		
344回	2006年12月16日	「描かれたアイヌの文化」	佐々木利和		
345回	2007年1月20日	「インドの社会変動― 街の暮らし、村の暮らし―」	三尾稔		
346回	2007年2月17日	「狂気の文化?― マレーシアにおける文化結合症候群―」	信田敏宏		
347回	2007年3月17日	「カメラが見つめた聖地・巡礼」	ミッシェル・ラヴェドリン 大森康宏		
348回	2007年4月21日	「聖地をめぐる」	野町和嘉 大森康宏		
349回	2007年5月19日	「お話し巡礼」	ミッシェル・ラヴェドリン 池田宗弘、大森康宏		
350回	2007年6月16日	「国際医療協力と文化人類学」	白川千尋		
351回	2007年7月21日	「開発援助と人類学―あなたの善意を空回りさせないために」	佐藤寛		
352回	2007年8月18日	「オーストラリア交通事情― アウトバックの距離を克服する―」	久保正敏		
353回	2007年9月15日	「空飛ぶカヌーと沈む船― 特別展『オセアニア大航海展』によせて―」	ピーターJ、マシウス		
354回	2007年10月20日	「現代に生きる島の人々― イースター島からマダガスカルまで―」	飯田卓、印東道子 桑原牧子、白川千尋 豊田由貴夫		
355回	2007年12月15日	「展示と来館者をつなぐ― みんぱくにおけるミュージアム・コミュニケーション―」	加藤謙一		
356回	2008年1月19日	「日本のアンデス考古学調査50年」	関雄二		
357回	2008年2月16日	「ヨーロッパに眠る日本の民具― 在外コレクションの調査から―」	近藤雅樹		
358回	2008年3月15日	「高床の民、チワン族の生活世界― 特別展『深奥の中国―少数民族の暮らしと工芸』へのいざない」	塚田誠之		
359回	2008年4月19日	「村落観光と民族文化 ― シーサンパンナ、タイ族の調査から― 」	長谷川清		
360回	2008年5月17日	「『民族図説』の世界― 伝統中国の異民族へのまなざし―」	武内房司		
361回	2008年6月21日	「柿の葉を摘む暮らし― 往来の地・出会う人々―」	鈴木七美		
362回	2008年7月19日	「映画でふり返る「民主化」前の韓国」	太田心平		
363回	2008年8月16日	「メキシコの女性たち― 農村開発プロジェクトから彼女たちが学んだこと―」	鈴木紀		
364回	2008年9月20日	「まなざしの交流― 特別展『アジアとヨーロッパの肖像』から―」	吉田憲司		
365回	2008年10月18日	「見ることと見られること展示に探る近代のアジアとヨーロッパ 」	川口幸也		
366回	2008年11月15日	「邂逅(かいこう)の文化交流―「鎖国」下の海外交流―」	嶋村元宏		
367回	2008年12月20日	「ラクダ牧畜社会のものづくり―素材・道具・技術―」	上羽陽子		
368回	2009年1月17日	「チベットのボン教」	長野泰彦		
369回	2009年2月21日	「開発の記憶、奇跡の語り―フィジーの村落開発事業に関する調査から―」	丹羽典生		
370回	2009年3月21日	「茶の湯と工芸」	熊倉功夫	460	
371回	2009年4月18日	「千家十職の家を継ぐ」	土田半四郎、黒田益代 永樂陽一、小林繁樹 八杉佳穂、太田心平	541	
372回	2009年5月16日	「千家と職方」	筒井紘一	536	
373回	2009年6月20日	「辺境のキリスト教美術をたずねて―南米イエズス会ミッションの聖堂装飾―」	齋藤晃	191	
374回	2009年7月18日	「グローバル化の中の漢族婚礼」	韓敏	168	
375回	2009年8月15日	「音盤に聴く東アジア近代音楽史―日本コロムビア外地録音資料―」	福岡正太	166	
376回	2009年9月19日	「イヌイット・アートの世界―極北からのメッセージ―」	岸上伸啓	220	
377回	2009年10月17日	「極限の文化―人はどこで生きているか生きられるか」	廣川和花、池谷和信 松山利夫、近藤雅樹	258	

みんなくゼミナール一覧

回数	開催年月日	演 題	講師	参加者数	備 考
378回	2009年11月21日	「「変身」の美学—イスイットと北西海岸先住民のアートの世界—」	大村敬一	228	
379回	2009年12月19日	「被災地が育む新たな絆」	太田敏一 林勲男	114	
380回	2010年1月16日	対談「アレクサンドロスの道を撮る—写真家、大村次郷x山中由里子—」	大村次郷 山中由里子	222	
381回	2010年2月20日	「あたらしいアフリカ展示のメッセージ」	竹沢尚一郎、吉田憲司 池谷和信、川口幸也 三島禎子、飯田卓	209	
382回	2010年3月20日	「トンガの王様と民主主義」	須藤健一	160	
383回	2010年4月17日	「ことばの宇宙を届けたい—新しい言語展示の表話・裏話—」	菊澤律子	179	
384回	2010年5月15日	「世界のことば—語順と系統—」	長野泰彦	275	
385回	2010年6月19日	「北タイの精霊ダンス」	田辺繁治 平井京之介	209	
386回	2010年7月17日	「聖人の力を伝えるガムラン」	福岡正太	239	
387回	2010年8月21日	「主張する太鼓」	寺田吉孝	142	
388回	2010年9月18日	「博物館と美術館の間—美術から見える現代アフリカの居場所—」	川口幸也	169	
389回	2010年10月16日	「西アフリカ—アートと歴史の交差点で—」	竹沢尚一郎	151	
390回	2010年11月20日	「アフリカの王様たちは今—ナイジェリアの政治と文化—」	松本尚之	243	
391回	2010年12月18日	「バルカン商人と羊飼—民族国家を求めなかったひとびと—」	新免光比呂	182	
392回	2011年1月15日	「みんなくエスノログ」	庄司博史	133	
393回	2011年2月19日	「日本の文字・世界の文字」	八杉佳穂	249	
394回	2011年3月19日	「みんなく誕生」	佐々木高明	220	
395回	2011年4月16日	「霊長類学からみたウメサオタダオの文明論」	山極寿一	233	
396回	2011年5月21日	「青年ウメサオタダオの学問形成」	中生勝美	175	
397回	2011年6月18日	「布・人・技、そして環境」	関本照夫	169	
398回	2011年7月16日	「オセアニアへの人類の移動—島嶼(とうしょ)環境を住みこなす—」	印東道子	230	
399回	2011年8月20日	「海に生きるくらし—島と島をつなぐ遠洋航海—」	小林繁樹	195	
400回	2011年9月17日	【第400回記念】「グローバリゼーションと移民」	伊豫谷登士翁 須藤健一	227	
401回	2011年10月15日	「物にみるアイヌ文化の地域性—周辺民族との比較—」	齋藤玲子	185	
402回	2011年11月19日	「絵画にあらわれたアイヌの風俗」	佐々木利和	176	
403回	2011年12月17日	「中東のキリスト教徒—したたかなマイノリティー—」	菅瀬晶子	195	
404回	2012年1月21日	「アメリカ南西部先住民の宝飾品」	伊藤敦規	157	
405回	2012年2月18日	「カレンダーから現代宗教を見る」	中牧弘允	175	
406回	2012年3月17日	「文化とアイデンティティー—ビルマ／ミャンマーの今—」	田村克己	213	
407回	2012年4月21日	「サハリンのキムチ」	朝倉敏夫	210	
408回	2012年5月19日	「今和次郎採集講義と日常生活文化研究の現在」	荻原正三、黒石いずみ 横川公子、佐藤浩司	237	
409回	2012年6月16日	「生活財の考現学—高度経済成長期の家庭景観—」	栗田靖之、足田正博 加藤ゆうこ	152	
410回	2012年7月21日	「情報アクティビスト宣言—市民の知的探究と博物館—」	飯田卓	105	
411回	2012年8月18日	「ソーシャルメディアに見る人とモノの関係」	濱崎雅弘	168	
412回	2012年9月15日	「手仕事への回帰」	吉本忍	271	
413回	2012年10月20日	「バントウの人びとのラフィア織り」	井関和代	190	
414回	2012年11月17日	「東南アジアの織機と衣装」	内海涼子	221	
415回	2012年12月15日	「樹皮舟を復元する—極東ロシアの白樺樹皮文化—」	佐々木史郎	137	
416回	2013年1月19日	「ヨーロッパのキリスト教とファシズム—ルーマニア・レジオナール運動を中心に—」	新免光比呂、深澤英隆 江川純一	246	
417回	2013年2月16日	「変わるヨーロッパの言語地図—多「言語」社会から「多言語」社会へ—」	庄司博史	251	
418回	2013年3月16日	「家族の今—イタリアの事例から考える—」	宇田川妙子	224	
419回	2013年4月20日	「マダガスカル霧の森のものづくり」	飯田卓	202	

みんなくゼミナール一覧

回数	開催年月日	演 題	講師	参加者数	備 考
420回	2013年5月18日	「マダガスカル霧の森にくらす人びと」	内堀基光 飯田卓	193	
421回	2013年6月15日	「日本の漁業を考える」	日高真吾 川島秀一	140	
422回	2013年7月20日	「色を創る、音で伝える、心に触れる—警女がみた風景」	広瀬浩二郎	291	
423回	2013年8月17日	「つくりもの—ハレのかたち・おもしろいかたち—」	笹原亮二、西岡陽子 福原敏男	166	
424回	2013年9月21日	「屋根裏部屋博物館主人の横顔」	飯田卓、木村裕樹 永井美穂	238	
425回	2013年10月19日	「心の武装解除—モザンビーク「武器をアートに」プロジェクトを考える—」	吉田憲司	155	
426回	2013年11月16日	「台湾平埔族の歴史と文化」	野林厚志	243	
427回	2013年12月21日	「カザフの死者儀礼—日常から展望するイスラーム—」	藤本透子	168	
428回	2014年1月18日	「熱狂エチオジャズ！！！」	川瀬慈	305	
429回	2014年2月15日	「ベトナムの黒タイのうた、おはなし」	樫永真佐夫	195	
430回	2014年3月15日	「装いのセンスと伝承—中国のフィールドから—」	横山廣子	222	
431回	2014年4月19日	「世界の華僑・華人と”故郷”」	陳天璽	246	
432回	2014年5月17日	「多みんぞくニホンのいま—特別展から10年—」	庄司博史	228	
433回	2014年6月21日	「現在進行形の海外移民—韓国を去りゆく人びとの胸のうち—」	太田心平	247	
434回	2014年7月19日	「泡盛今昔物語」	日高真吾 萩尾俊章	221	
435回	2014年8月16日	「世界遺産に住む—中国・客家の伝統家屋—」	河合洋尚	207	
436回	2014年9月20日	「イメージのカーみんなくコレクションが語るもの—」	吉田憲司	290	
437回	2014年10月18日	「はるかなる北の大地、グリーンランドの自然と人びとの暮らし」	岸上伸啓	240	
438回	2014年11月15日	「美術館からみたみんなくコレクション」	長屋光枝、山田由佳子 齋藤玲子	223	
439回	2014年12月20日	「グローバル化の中の財団」	出口正之	126	
440回	2015年1月17日	「デジタルアーカイブズの楽しみ—文化遺産オンラインから実業史錦絵絵引まで—」	丸川雄三	170	
441回	2015年2月21日	「遊牧の起源—パングラデシュの豚と人のかかわり—」	池谷和信	241	
442回	2015年3月21日	「ミシンと家庭—100年前のグローバル商品—」	森明子	192	
443回	2015年4月18日	「10世紀の西アフリカに伝わった中国製磁器—アフリカから世界史を考える—」	竹沢尚一郎	197	
444回	2015年5月16日	「先住民が守る古代遺跡—アムール河流域シカチ・アリヤン村の岩面画—」	佐々木史郎	205	
445回	2015年6月20日	「インド刺繍布がうみだす世界」	上羽陽子	279	
446回	2015年7月18日	「大陸中央の末端へ—パキスタンの山奥で言語を探す—」	吉岡乾	217	
447回	2015年8月15日	「オセアニアの戦争の文化」	丹羽典生	206	
448回	2015年9月19日	「博物館は食をどう展示するか—特別展メイキング—」	大野木啓人、佐野睦夫 金晃均、朝倉敏夫	231	
449回	2015年10月17日	「言語の遺伝子をたどる—ことばの変化と人の移動—」	菊澤律子	205	
450回	2015年11月21日	「シルクロードの古代都市遺跡と歴史空間」	寺村裕史	191	
451回	2015年12月19日	「ベトナム、黒タイの台所」	樫永真佐夫	181	
452回	2016年1月16日	「東南アジアの人形芝居」	福岡正太	230	
453回	2016年2月20日	「みんなくにタイ寺院ができるまで」	平井京之介	167	
454回	2016年3月19日	「『夷魯列像』の首長たちがまとう衣装」	佐々木史郎	318	
455回	2016年4月16日	「夷魯列像を考える」	右代啓視、内田順子 日高真吾	288	
456回	2016年5月21日	「ヒンドゥー聖地と巡礼の現在」	松尾瑞穂	228	
457回	2016年6月18日	「ポスト移行期モンゴルの文化変容」	小長谷有紀	226	
458回	2016年7月16日	「カザフ女性たちの結婚と子育て」	藤本透子	175	
459回	2016年8月20日	「飛ばねえカワウは、ただのカワウだ—鵜飼研究の魅力を語る—」	卯田宗平	157	
460回	2016年9月17日	「軽業の系譜と民俗芸能—特別展「見世物大博覧会」から—」	笹原亮二	242	
461回	2016年10月15日	「言葉から文化を考える—「アラブ的思考様式」再考—」	西尾哲夫	186	
462回	2016年11月19日	「博物館の中の古代アメリカ文明」	鈴木紀	175	

みんなくゼミナール一覧

回数	開催年月日	演 題	講師	参加者数	備 考
463回	2016年12月17日	「アイヌ語はどこから来たのか。そして、どこへ行くのか。」	中川裕 齋藤玲子	326	
464回	2017年1月21日	「アイヌ文化と観光」	齋藤玲子	226	
465回	2017年2月18日	「津波を越えて生きる―大槌町の奮闘の記録―」	竹沢尚一郎	229	
466回	2017年3月18日	「人間にとってビーズとは何か?―特別展「ビーズ―つなぐ・かざる・みせる」から」	池谷和信	286	
467回	2017年4月15日	「エジプトでイスラーム思想のテキストを読む」	相島葉月	164	
468回	2017年5月20日	「心地よい暮らし(エイジング・イン・プレイス)―コミュニティをつなぐアーミッシュたちの暮らしから―」	鈴木七美	200	
469回	2017年6月17日	「つくられる移民」	三島禎子	210	
470回	2017年7月15日	「ネパールの楽師カースト・ガンダルバの現在」	南真木人	192	
471回	2017年8月19日	「シーボルトの日本展示と博物学」	日高薫、野林厚志 園田直子	300	
472回	2017年9月16日	「多文化主義の国カナダにおける先住民文化」	岸上伸啓	203	
473回	2017年10月21日	「ジョージ・ブラウン・コレクションの軌跡をたどる」	林勲男	125	
474回	2017年11月18日	「仮面の世界をさぐる―アフリカ、そしてミュージアム―」	吉田憲司	203	
475回	2017年12月16日	「オラン・アスリの家族―母系制・妻方居住・一夫多妻―」	信田敏宏	152	
476回	2018年1月20日	「木彫り熊からアートモニュメントまで」	五十嵐聡美、貝澤徹 岡田恵介、齋藤玲子	204	
477回	2018年2月17日	「ヒュードロドロの系譜―この世ならざるものの出現にともなう音―」	山中由里子	198	
478回	2018年3月17日	「万博資料収集団―太陽の塔に集った仮面、神像、なりわいの道具―」	野林厚志	258	
479回	2018年4月21日	「EEMという「運動」」	松原正毅、野林厚志 丹羽典生	181	
480回	2018年5月19日	「聖都エルサレム」	菅瀬晶子	389	
481回	2018年6月16日	「データベースのはしご」	山本泰則	161	
482回	2018年9月8日	「アーミッシュ・キルトを巡る旅―いくつもの人生物語へ―」	鈴木七美	97	
483回	2018年9月15日	「特別展「工芸継承」からのメッセージ」	日高真吾、永山広樹 北村繁	190	
484回	2018年10月20日	「工芸を語る―宮城の職人からのメッセージ―」	日高真吾 永山雅大	159	
485回	2018年11月17日	「韓国の若者層がみた現代韓国―生きづらさを個人レベルでどうするか―」	太田心平	170	
486回	2018年12月15日	「毛沢東バッジの過去と現在」	韓敏	148	
487回	2019年1月19日	「インターネットで神さまと『ともだち』になる―当世ヒンドゥー教事情―」	三尾稔	161	
488回	2019年2月16日	「インカ帝国から先住民共同体へ―植民地期アンデスにおける先住民の集住化―」	齋藤晃	174	
489回	2019年3月16日	「チャルメラ―過去から響く音―」	寺田吉孝	160	
490回	2019年4月20日	「教育玩具とその時代―子ども・おもちゃ・教育―」	是澤博昭 笹原亮二	163	
491回	2019年5月18日	「文化遺産の持続的な活用をめざして―南米ペルー北高地パコパンバ遺跡での試み―」	関雄二	164	
492回	2019年6月15日	「物質文化から見た沙漠社会―アラビア半島オアシスの半世紀―」	西尾哲夫、縄田浩志 遠藤仁	161	
493回	2019年7月20日	「アンデスの褐色のキリスト―奉納品をとらえてみる信仰の世界―」	八木百合子	165	
494回	2019年8月17日	「文化人類学者・片倉もとこの見たサウジアラビア」	菅瀬晶子、片倉邦雄 藤本悠子	258	
495回	2019年9月21日	「奴隷交易の世界史―サハラ以南アフリカと世界―」	鈴木英明	200	
496回	2019年10月19日	「珍獣・霊獣・幻獣・怪獣―人はなぜモンスターを想像するのか?―」	山中由里子	274	
497回	2019年11月16日	「ルーマニア近代の知識人と民衆―民族主義、正教信仰、社会主義のなかで―」	新免光比呂	166	
498回	2019年12月21日	「海の人類史―東南アジア・オセアニア考古学の最前線―」	小野林太郎	190	
499回	2020年1月18日	「イタリアにおける人と食のかかわり」	宇田川妙子	182	
500回	2020年2月15日	「文明の転換点におけるミュージアム―みんなのこれまでとこれから―」	吉田憲司	202	
501回	2020年8月15日	「出稼ぎ先は「小さな国連」―国際貿易都市・浙江省義烏市に暮らすムスリムたち―」	奈良雅史	62	
502回	2020年9月19日	「梅棹忠夫に学んだ知的生産の技術」	小長谷有紀、高野明彦 飯田卓	158	
503回	2020年10月17日	「アイヌ文学の世界―韓・日との比較―」	北原モコットウナシ 齋藤玲子	146	
504回	2020年11月21日	「ミュージアムが社会を変える―水俣の遺産―」	平井京之介	82	
505回	2020年12月19日	「民博研究の政策としての応用―トランスフォーマティブ研究事始め―」	出口正之	55	

みんなくゼミナール一覧

回数	開催年月日	演 題	講師	参加者数	備 考
506回	2021年2月20日	「南半球の華僑華人―客家を中心として―」	河合洋尚	67	オンライン開催
507回	2021年3月20日	「牡鹿半島の民俗誌―復興キュレーション―」	加藤幸治 日高真吾	会場:69名 最大同時視聴者数:55	オンライン併用
508回	2021年4月17日	「双葉町に就職して―学芸員の視点から―」	星洋和 日高真吾	会場:39名 最大同時視聴者数:43	オンライン併用
509回	2021年5月15日	「郷土芸能の持つ力」	小谷竜介 日高真吾	最大同時視聴者数:134	オンライン開催
510回	2021年6月19日	「ヒップホップ・モンゴリア―韻がつむぎだす現代モンゴル社会―」	島村一平	最大同時視聴者数:137	オンライン開催
511回	2021年7月17日	「人はなぜ共に歌うのか?―インド北東部ナガの伝統ポリフォニーの事例から―」	岡田恵美	最大同時視聴者数:149	オンライン開催
512回	2021年8月21日	「規則的配色がつくりだす宗教空間―敦煌莫高窟の千仏壁画―」	末森薫	最大同時視聴者数:168	オンライン開催
513回	2021年9月18日	「健常者とは誰か―琵琶なし芳―の話―」	広瀬浩二郎	最大同時視聴者数:374	オンライン開催
514回	2021年10月16日	「ユニバーサル・ミュージアムとは何か―暗闇で『野生の勘』を取り戻せ―」	広瀬浩二郎、大石徹 黒澤浩、篠原聡	最大同時視聴者数:150	オンライン開催
515回	2021年11月20日	「産後三・七日間の変化―韓国伝統慣習から産後ケア施設まで―」	諸昭喜	会場:34名 最大同時接続数:50	オンライン併用
516回	2021年12月18日	「アボリジニ・アートはどう描かれるか」	平野智佳子	会場:75名 最大同時接続数:86	オンライン併用
517回	2022年1月15日	「大規模災害の経験を伝える―遺構・記念碑・語り部・博物館の役割―」	林勲男	会場:47名 最大同時接続数:71	オンライン併用
518回	2022年2月19日	「遙かなる山々―アンデス文明探求40年の軌跡―」	関雄二	会場:70名 最大同時接続数:117	オンライン併用
519回	2022年3月19日	「焼畑は環境破壊か―佐々木高明の研究とその後―」	池谷和信、佐藤廉也 米家泰作	108	
520回	2022年4月16日	「古代オアシス都市における人びとの暮らしと宗教―カフィル・カラ遺跡の発掘調査から―」	寺村裕史	会場:94名 最大同時接続数:75	オンライン併用
521回	2022年5月21日	「ドキュメンタリー写真家B.インジナシが見た現代モンゴルー」	B.インジナシ、港千尋 川瀬慈、島村一平	会場:152名 最大同時接続数:113	オンライン併用
522回	2022年6月18日	「フランスのモン難民から考えるグローバル化」	中川理	82	
523回	2022年7月16日	「鵜と人間―ウミウ産卵の謎解きから―」	卯田宗平	85	
524回	2022年8月20日	「ソースコミュニティを敬う博物館活動」	伊藤敦規	67	
525回	2022年9月17日	モノからみる海のある暮らし―東南アジア・オセアニアの漁具・舟具・装飾品	小野林太郎	93	
526回	2022年10月15日	アートと学問のジャムセッション	菊澤律子、川瀬慈 山城大督	101	
527回	2022年11月19日	身の回りをフィールド言語学する	吉岡乾	136	
528回	2022年12月17日	神殿をつくることから生まれた文明―古代アンデスの祭祀建造物	松本雄一	125	
529回	2023年1月21日	アラビアンナイトとヨーロッパの音楽風景	西尾哲夫、岡本祥子 岡本尚子	188	
530回	2023年2月18日	家族農業の軌跡をたどる―オーストリアの調査から	森明子	78	
531回	2023年3月18日	民衆芸術―ラテンアメリカの人びとの創造力と批判力	鈴木紀	159	
532回	2023年4月15日	記憶と抵抗のメディアとしての民衆芸術	鈴木紀、酒井朋子 細谷広美、山越英嗣	161	
533回	2023年5月20日	データベースからデジタルミュージアムへ―文化遺産オンラインのリニューアル公開とタイムマシンナビ	丸川雄三	81	
534回	2023年6月17日	日本人による最初期のガラパゴス探検	丹羽典生	92	
535回	2023年7月15日	情報工学研究者のフィールドワーク	宮前知佐子	79	
536回	2023年8月19日	死してなお「生きる」者―現代イランにおける戦後と殉教者	黒田賢治	91	
537回	2023年9月16日	ベトナムの黒タイの神話	檜永真佐夫	108	
538回	2023年10月21日	暮らしの中に現れる神がみ―現代ヒンドゥー教徒の生活の場から	三尾稔	185	
539回	2023年11月18日	北アメリカ北西海岸地域の先住民アート―シルクスクリーン版画を中心に	岸上伸啓	118	
540回	2023年12月16日	「友よ、水になれ」―メディア化時代における身体知のゆくえ	相島葉月	72	
541回	2024年1月20日	博物館の舞台裏―資料の保存を考える	園田直子	176	
542回	2024年2月17日	地球と文明―ホモ・サピエンス史からの展望	池谷和信	190	
543回	2024年3月16日	水俣病を伝える	平井京之介、永野三智	226	
544回	2024年4月20日	日本の仮面	笹原亮二	311	
545回	2024年5月18日	東南アジアの仮面	福岡正太	193	